

歴史ロマン溢れる掛川 悠久の地を訪ねる



①掛川城

室町時代、駿河守護の今川氏の命により家臣朝比奈氏によって築城されたのが掛川城のはじまりです。その後、現在の地に移され、戦国時代には山内一豊が天守の普請とともに城域拡大と城下町を整備しました。



②掛川城二の丸御殿

安政の大地震(1854)で倒壊した後に造られた御殿で、藩主の公邸、藩の役所、式典などに使われました。全国に数カ所しかない城郭御殿として、国の重要文化財に指定されています。



③掛川古城と龍華院大猷院霊屋

室町時代、掛川城として最初に築かれ、中世城郭の姿を伝えるのが掛川古城です。本曲輪には、明暦2年(1656)、時の藩主北条氏重が建立した三代将軍家光を祀る霊廟があり、文政5年(1822)に再建され、現在、県の有形文化財に指定されています。



④竹の丸

山内一豊による城郭整備に伴い拡張された曲輪です。明治36年(1903)、江戸時代から続く葛布問屋松本家の本宅が建てられました。建物の随所に意匠が凝らされた近代和風建造物として保存、整備を経て一般公開されています。



⑤大日本報徳社

金次郎像で著名な二宮尊徳が唱えた報徳の普及を行う報徳社の本社です。国の重要文化財の大講堂をはじめ、仰徳記念館、淡山翁記念報徳図書館など貴重な近代和風建築から成る歴史的建造物群の宝庫です。



⑥二の丸美術館

江戸から明治にかけてのたばこ道具・印籠・刀装具などの細密工芸品と、横山大観・東山魁夷をはじめとする近代日本画の巨匠の作品を収蔵、公開する和風建築の美術館です。特にたばこ道具は全国有数のコレクションを誇ります。



⑦ステンドグラス美術館

19世紀イギリス、ヴィクトリア時代のステンドグラス70点余りを収蔵、公開する世界的にも大変珍しい美術館です。陽光とステンドグラスが織りなす光の交響曲をお楽しみいただけます。



⑧松ヶ岡

江戸時代末期に建てられた掛川藩御用商人山崎家の住宅と屋敷地です。主屋と蔵などから成る建物群、堀に囲まれた屋敷地、往事の豪商の屋敷構えが良好に保存されています。毎月第4土曜日の午前10時から午後3時まで、一般公開されています。



⑨円満寺山門(掛川城路の門)

元、掛川城内堀(運池)畔にあった四脚門で、明治5年(1872)、西町の円満寺に移築されました。大手門から本丸・二の丸などの城の要所に至る道筋にあり、小規模ながら重要な門でした。柱の下2尺5寸(約76cm)切り取って山門にしたと云われています。



⑩掛川城大手門と大手門番所

安政の大地震(1854)で倒壊、平成7年(1995)に元の場所の北50mの現在地に再建されました。楼門造りで、掛川城の表玄関にふさわしい勇壮な門です。門の奥には、城内の出入りを監視する番所が保存されています。



⑪十九首塚

天慶2年(939)古代史上最大の内乱、平将門の乱により、朝廷軍に討伐された将門と18人の首級が埋葬されたと伝わる首塚です。永祿6年(1563)、井伊直虎の許嫁であった井伊直親が殺害された場所とも云われています。



⑫池辺神社八幡宮社

十九首に首塚とともに祀られていた八幡宮でしたが、17世紀末から18世紀初頭に大池地区の池辺神社に分祀されました。池辺神社の北にある三つ池の池面に突き出た半島部に鎮座しています。分祀には井伊家の関与が想定されます。



問い合わせ先

掛川観光協会ビジターセンター「旅のスイッチ」
〒436-0029 静岡県掛川市南1-1-1 JR掛川駅南口構内
TEL.0537-24-8711

発行

掛川市役所商業観光課
〒436-8650 静岡県掛川市長谷1-1-1
TEL.0537-21-1149(直通)

----- 正誤表 -----

本書において下記のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

タイトル「井伊直親殺害とその背景」の文中、「そんな不穏な動きに対し、今川氏は井伊氏に謀反の嫌疑を掛けます。」の後文箇所です。

【誤】永禄6年（1563）

【正】永禄5年（1562）

※その文の下に示す系図及び裏表紙内⑪十九首塚本文4行目も同様です。